

町の家計簿を公表します 令和元年度決算報告

町民の皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、私たちの生活をよりよくするためにいろいろな形で使われています。これらがどれくらい納められ、どのように使われているかを知っていただくための令和元年度決算を報告します。

○普通会計決算の概要

令和元年度は、「第2次長島町総合振興計画」の3年目として、道路や港湾、漁港などの社会資本整備事業を積極的に実施してきました。この結果、普通会計で11年連続となる100億円を超える決算となりました。

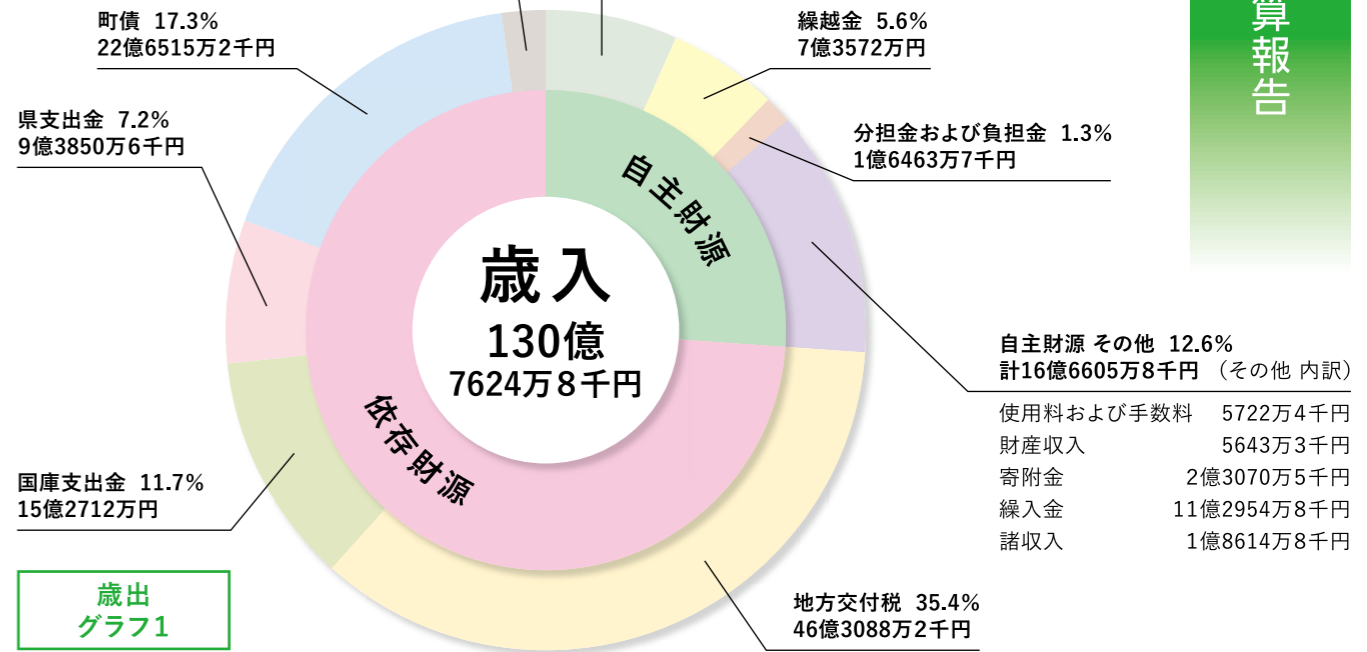
決算収支の状況は歳入総額130億7625万円、歳出総額127億7486万円、歳入歳出差引額は3億139万円。実質単年度収支は財源として多くの基金を繰り入れたため6億439万の赤字となりました。

歳出では、町道整備事業8億3807万5千円、港湾整備3億9408万5千円、総合運動公園整備事業1億3949万8千円、中学校空調整備事業5億6390万1千円、認定こども園風の杜こども園整備事業2億4033万9千円などを実施したため、投資的経費は35億758万1千円となりました。

○自主財源は26.4%

町の財源には、町税などの自分たちで収入を得る「自主財源」と地方交付税などのように国や県などから交付される「依存財源」の2種類があります。自主財源が多いほど、自主性が高い町づくりができます。

| 依存財源 計2億6545万3千円 | |
|------------------|------------|
| 地方譲与税 | 7018万2千円 |
| 利子割交付金 | 59万1千円 |
| 配当割交付金 | 181万6千円 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 104万9千円 |
| 地方消費税交付金 | 1億6870万8千円 |
| 自動車取得税交付金 | 751万1千円 |
| 地方特例交付金 | 1430万8千円 |
| 交通安全対策特別交付金 | 128万8千円 |
| その他 | 2.1% |



歳入 グラフ1

積立金は、減債基金に3億円、夢追い獅子島架橋基金に1億1664万6千円などを積立てました。

基金残高は52億6689万9千円と前年比3億7366万円の減額となりました。

この結果の報告を通じ、町財政の実情についてご理解をいただき、今後の財政運営により一層のご協力をお願いします。

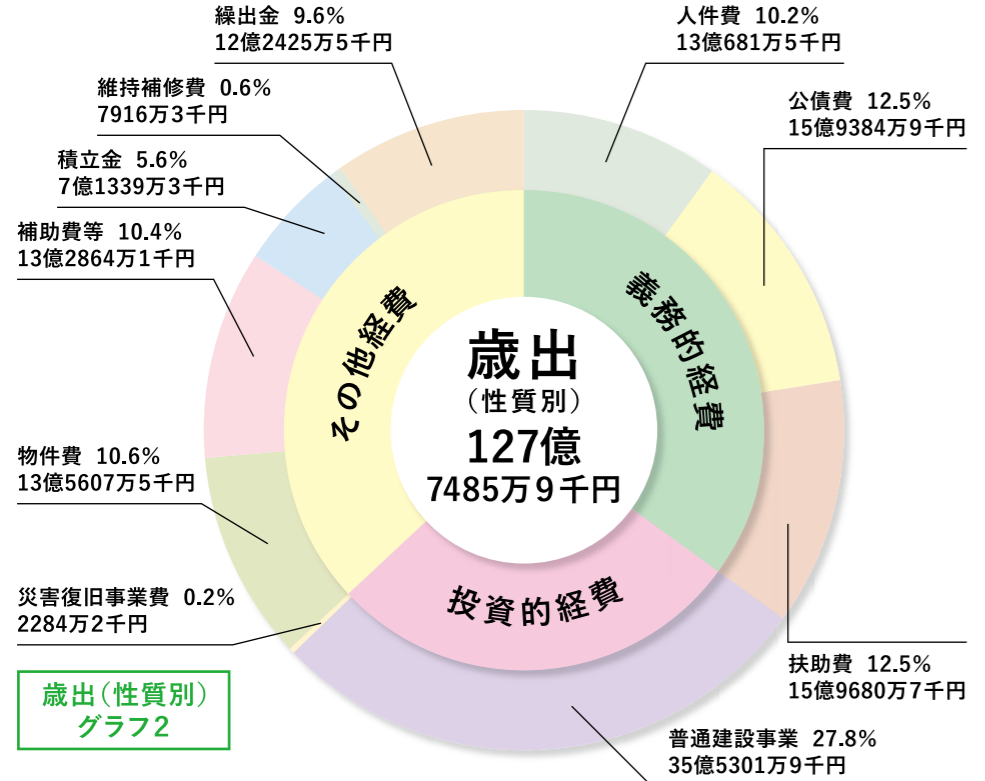
○義務的経費が35.2%

義務的経費とは、町で働く職員の人件費や国などへの借金返済額を表す公債費、児童や高齢者などを支援するための扶助費などのことです。

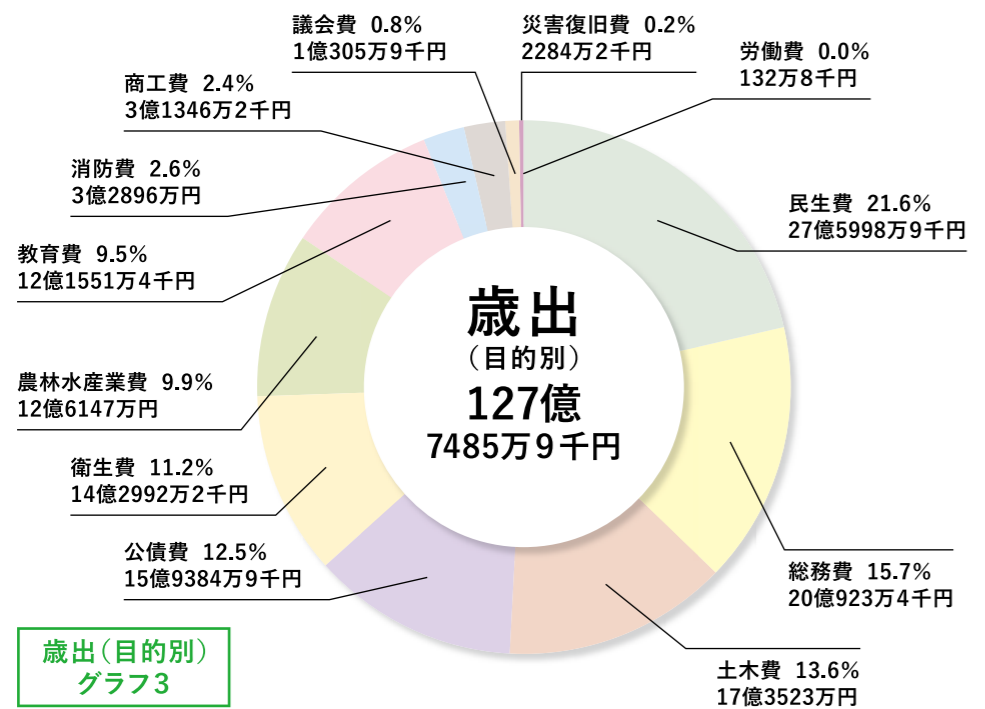
○地方消費税率の引き上げに係る使途の明確化について

平成26年および令和元年に消費税率(国・地方)が引き上げられたことに伴う地方消費税の増収分はその使途を明確化し、社会保障施策に要する経費(人件費以外)に充てることとされています。

本町の令和元年度の地方消費税(社会保障財源化分)は7610万8千円となり、これらは「障害者自立支援給付事業」、「高齢者生活支援給付事業」、「子ども医療費助成事業」、「母子保健事業」、「予防接種事業」に活用されました。



歳出(性質別) グラフ2



歳出(目的別) グラフ3

○行政用語の解説

- 歳入「グラフ1」
- 町税 町民税、固定資産税など町民の皆さんが納める税金
- 地方交付税 国から一定の基準により交付されるお金
- 線越金 前年度から本年度へ持ち越しのお金
- 繰入金 町の基金などから繰り入れたお金
- 国庫・県支出金 各種事業に対する国・県から交付される補助金
- 町債 町が借り入れたお金
- 歳出(性質別)「グラフ2」
- 人件費 町職員の給与や退職金、議員や委員の報酬などの経費
- 扶助費 児童・高齢者・生活困窮者などを援助するための経費
- 公債費 事業を行うために借り入れたお金の償還金
- 補助費等 各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金などの経費
- 線越金 他会計に支出する経費
- 普通建設事業費 道路橋りょう、港湾、公営住宅などの建設事業に要する経費
- 歳出(目的別)「グラフ3」
- 総務費 全般的な管理事務、企画調整事務、財政事務、選挙事務などの経費
- 民生費 社会福祉、身体障害者、老人福祉、児童福祉などの経費
- 衛生費 保健事業、感染症予防、廃棄物処理などの経費
- 農林水産業費 農・林・漁業振興対策の経費
- 土木費 道路橋りょう、河川、港湾、公営住宅などの経費
- 消防費 消火、防災防除、災害時被害軽減などの経費
- 教育費 教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費